

ラノーテープが効かない オンシツコナジラミが見つかりました

福島県農業総合センター 生産環境部
平成18年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

野菜 - トマト - 病害虫防除
分類コード 03-04-23000000

2 担当者

荒川昭弘・中村 淳

3 要旨

白河市表郷のトマトハウスに多発するオンシツコナジラミは、ラノーテープへの感受性が低下している。

- (1) ラノーテープを2002年から使用している白河市表郷のトマト栽培ハウスで、本剤のオンシツコナジラミに対する防除効果が劣るという情報が寄せられた。
- (2) 2006年9月12日、白河市表郷の5箇所のトマトハウスで発生しているオンシツコナジラミ成虫をそれぞれ採集した。対照には1989年に兵庫県加西市で採集し、累代飼育している感受性系統を供試した。
- (3) ラノーテープと同一成分の製剤であるラノー乳剤(ピリプロキシフェン10%)を用いて、薬剤散布8日後の殺卵率を調査した。
- (4) 今回供試した5つの個体群は、いずれも補正死虫率が0.1ppmで80%以下となり、対照の個体群に比べて感受性が低下していることが明らかになった。
- (5) 今後は、使用を中止した後に感受性が回復するかどうかを調査する。また、他の地域では連続使用を避けるなどの指導が必要と考えられた。

4 その他の資料等

なし